



中沢かつゆき 通 信



<https://k2nakazawa.com>

市政に関するご要望、皆さまの声をお聞かせください！



鎌倉を守る

大地震、土砂崩れ、集中豪雨、大型台風。毎年のように、大きな災害が発生しています。東日本大震災直後から被災地に行き続け、能登半島地震でも、何度も被災地に通っています。被災地で感じたこと、考えたことを、鎌倉市でもすぐに実施しなくてはならないと感じています。災害に強い街を早急に作らなくてはなりません。

鎌倉市は、スポーツ施設が少ないと言われます。笛田公園スポーツ施設は、老朽化し改築をすすめています。夜間照明設備もなく、予約もなかなか取れない状況です。深沢再開発地に、野球場、テニスコート、サッカー場等を整備します。

鎌倉の農林水産業のブランド化をさらに進め、次代まで鎌倉の農林市産業を繋げていきます。

鎌倉は木々に囲まれた自然豊かな風土。しかし樹木管

理は滞ってしまってます。適正管理を進めていきます。

鎌倉の下水道事業は、鎌倉市。稲村ヶ崎では、破断したこともあります。大雨の時は、マンホールから溢れています。市道の橋も老朽化し、架け替えが必要な箇所が多くあります。早急に取り替えを進めていきます。

市立小中学校の建替は、山崎小学校、第一小学校が計画されていますが、止まったままです。国と連携して、建替計画を進めていきます。

保育園待機児対策を進め、保育園の整備のための補助を拡充します。

高齢者福祉施設は、拡充整備を進めていきます。

砂押川の歩道整備を進めます。「Fit Care MART」から今泉橋までの歩道を整備します。さらに、七久保橋から岩瀬地区まで進めていきます。

鎌倉を変える

コロナ禍以降、経済は厳しいままです。市民生活を支援し、鎌倉の経済を活性化するために、減税を実施します。個人市民税の減税は、すでに名古屋市でも実施しており、可能です。5%減税を進めます。直近8年間で、鎌倉市の予算は200億円も増額。必要のない事業を廃止し、市民税減税を進めます。

市役所移転は、明確に反対いたします。未だに総額予算も積算されておらず、予算の目処もない中、なぜ今なのか。コロナ禍後、経済は戻らず、市民の皆さんの手取りも増えず、物価は高騰し、日々の生活は厳しいままです。鎌倉市の正規職員は、1300人、非正規職員は、1500人。デジタル化社会の現在、職員数を見直すのが先です。深沢再開発計画総額予算1,500億円とも言われています。鎌倉市の一般会計予算は、約800億円。次代につけを回すべきではありません。

ゴミ問題は、15年以上置き去りのままです。有料化しても、その収入の使い道も不明。戸別収集は、中沢が明らかにしましたが、莫大な費用。しかし、鎌倉の地形では収集の人員が集まらない。有料化を廃止して、戸別収集は廃止します。

いじめ問題は、中沢がずっと取り組んでいます。いじめ1

10番を設置しましたが、今でも相談をいただきます。教育委員会と学校が、真剣に取り組むことが大切です。いじめの根絶に取り組みます。

次代を担う子どもたちの子育て環境は、重要です。保育料全年齢無料化します。給食は、中学校まで無料化します。中学校の制服の無料化にも取り組めます。

高齢者の皆さんとの多世代交流は、鎌倉を伝え続けていく上で大切です。こどもたち、子育て世代、高齢者の皆さんとの多世代交流施設を拡充します。

歴史の街鎌倉。AIを活用して、鎌倉の古き街を可視化していきます。

国際観光都市鎌倉。インバウンドで、世界中から、観光客が訪れています。国際交流を進めて、鎌倉の魅力を世界に発信していきます。

鎌倉市の商業の活性化は、鎌倉の活性につながります。通信インフラを拡充して、商業政策を進めます。

人口は、3年間で3,000人減少しています。住みやすい街、住みたいと思う街・鎌倉をつくりま

中沢の政策

市役所移転はどうする？	市役所は、鎌倉の「顔」です。現在の場所に、市長室、議会、総務部や市民の皆さんの窓口を残して、それ以外の部は、野村総研跡地に複合施設を整備して、分庁舎とします。被災地に何度も行っている中沢が感じたことは、市役所機能の分散化の重要性です。AIを活用して、業務の効率化を進める「AI市役所」を進めていきます。福祉や消防など、人としての対応が必要な部署には、より人員配置を増やします。
減税は？	鎌倉市の予算は、8年間で200億円も増加しています。まず不要不急な予算を削減します。コロナ禍以降、市民の手取りは減り、経済はまだ戻っていません。個人市民税を減税して、市民生活を支援し、経済の活性化を進めます。名古屋市で実施していますが、5%減税を実現します。
深沢再開発はどうする？	深沢再開発は必要です。スポーツと文化エリアとして、再開発を行います。野球、サッカー、テニス、総合体育館を整備して、市民憩いの場としての整備を行います。屋外パーベキューエリアなども整備して、多くの市民の皆さんが集える場所としての整備を行います。災害時に、緊急広場として利用できるよう整備します。
消防本部はどうなる？	消防本部は、現在の大船に残し、災害時を想定して、さらに機能拡充していきます。消防は、救急だけでなく、災害時にも重要な役割を果たします。市役所とは別の機能が求められます。
ゴミ問題は どうする？	まず、ゴミ袋の有料化は廃止します。ごみ焼却場整備を目的とした増税は、市内に焼却場整備を行わないと判断した鎌倉市では、まず廃止します。ゴミの分別が進んでいる現在、ごみ処理広域連携の枠組みを再検討します。跡地利用について、地元の方々と協議を進めていきます。戸別収集は、鎌倉の地形を考えますと、収集人員が集まりません。収集費用が、莫大となることが予想されています。戸別収集は、廃止します。
支所はどうする？	東日本大震災直後に訪れた被災地では、「支所」が機能していたので、初期対応ができた地区が多くありました。市役所機能分散は、3.11以降の趨勢です。鎌倉市でも、現在の支所を残して、防災機能を拡充していきます。通信インフラを整備して、日常だけでなく、非常時でも活用できるようにします。
古い下水道管、橋はどうする？	下水道事業は、鎌倉市。市道の橋梁管理も鎌倉市。どちらも、50年以上経っているインフラが多く、交換、架け替えが喫緊の課題です。下水道管については、坂の下から稲村ヶ崎にかけて破断したことがあり、市民生活に大きな影響がありました。早急に改良をこなしていきます。
学校や給食は？	山崎小学校、第一小学校の建替計画が進んでいません。国と相談して、計画を進めます。給食については、中学校まで無料化します。
商業振興は？	小町通商店会、仲通商店街など、商業の中心を活性化します。通信インフラを拡充し、振興補助政策を拡大していきます。鎌倉の商業の活性化は、鎌倉の活性化につながります。インバウンド対策と合わせて、進めていきます。
農林水産業振興は？	鎌倉の農林水産業は、次代までつなげていく必要があります。振興政策を拡充します。「鎌倉ブランド」をさらに進めていきます。水産業振興として、鎌倉漁港整備を進めていきます。腰越漁港と合わせて、鎌倉の漁業を守って行きます。
いじめ問題は？	初当選以来、取り組んでいるいじめ問題。いじめは、昔も今もあってはいけないこと。教育委員会の直接関与を進め、学校の早期報告と対応を進めていきます。子供達が、夢と希望を持てる鎌倉にしていきます。
砂押川歩道整備のこれからは？	砂押川歩道整備は、中町バス停から「Fit Care MART」までは整備しました。整備した歩道は、雨が降りますと滑りやすいので、滑り止めの工事を行います。今泉小学校交差点の歩道が狭いことから、ここから先の今泉橋まで歩道整備を行います。七久保橋から岩瀬地区の歩道整備を進めていきます。

中沢かつゆき、ってどんな人？



経歴

昭和41年6月26日生
 群馬県立渋川高等学校卒業
 東京電機大学理工学部情報科学科卒業
 温泉コンサルタント
 大阪観光大学観光学研究所客員研究員
 材木座保育園保護者会会長
 にかいどう子どもの家父母会会長

鎌倉野球協会会長
 鎌倉フットサル協会会長
 鎌倉居合道協会参与
 鎌倉市スポーツ協会常任理事
 杉原千畝記念財団理事
 サッカー4級審判
 公認学童野球審判員
 公認学童野球コーチ
 第2級アマチュア無線技士

議会
 第62代鎌倉市議会議長
 総務常任委員会委員長

著書
 「安全な温泉・あぶない温泉」
 (草思社刊)

二階堂在住
 mail:nakazawa.kamakura@gmail.com